



〈家庭科より〉

(8組担任・家庭部顧問)

自己紹介します。生まれは浅草です。スカイツリーラインの始発駅です。縁あって埼玉県に移り住んで33年です。人生の半分以上埼玉で生活しているので立派な埼玉県人と自負しています。子どもは大学生の女の子と高校生の男の子が一人ずついます。まだまだ手がかかります。趣味は人に自慢できるものはないのですが、料理をすることが好きです。

例年であれば、きっとこのような事をクラスや授業を通して話をしていたと思います。でも、思いもよらない社会状況(世界状況)になってしまった今、平凡だった日常が一変してしまい、誰もかれもが緊張し、我慢をしてしのいでいます。そのような中先日の登校日、高校生として会った皆さんを見て学校に生徒がいるっていいなあと改めて思いました。普通が普通で無くなっていますが、必ず落ち着いた日々が戻ってくると信じて過ごしましょう。

家庭科を学ぶにあたって

皆さんが小学4年生から始まった家庭科ですが、越ヶ谷高校では全ての生徒が1年次のみの履修なので、最後の学びとなります。3年次の選択科目に「フードデザイン」と「子どもの発達と保育」があるので履修してもらえれば家庭科目を学んでもらえます。

家庭科はある意味、**総合科目**です。衣類の洗濯に使う洗剤ですが「化学」と「数学」の知識が必要です。さらに洗濯は「物理」の知識があるとよりよく「洗濯をする」事が出来ます。私たちの生活は理科、数学だけでなく、社会、国語、英語、保健・体育、芸術などの知識があるとよりよく生活できます。担当するものとして家庭科を学んだ生徒が将来、よりよく生きてほしいと思っています。そのためにはあらゆる学びが関連してくるのでぜひ、日々の全ての学びを大切にしてください。

そして家庭科は**実践学問**です。理科をはじめとして学校で学んだ知識を日常生活に活用してもらえるようにしていきます。そのためにも、皆さん一人一人が**日常生活にアンテナをたてて学んだこと**を実践してください。高校生として今できることを実践することは大人になってからの生活の基礎になるはずですよ。

クイズです

持ちても金属のお鍋で10分間加熱調理をするのに、熱いので布巾を使って持ちてを持ちたい。その時、布巾はどちらが良いでしょう。その理由も答えましょう。

ア：乾いた布巾 イ：濡れた布巾